



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 川端 一弥 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	45,917	△8.8	3,248	5.5	2,600	△20.1	1,764	△10.8
28年3月期第2四半期	50,347	2.9	3,080	30.5	3,255	23.1	1,977	25.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,178百万円(10.7%) 28年3月期第2四半期 1,064百万円(△60.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	16.75	13.90
28年3月期第2四半期	18.77	15.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	95,367	48,946	51.3
28年3月期	97,027	48,296	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 48,946百万円 28年3月期 48,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00			
29年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	0.9	6,500	0.9	6,800	5.6	4,300	19.2	40.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	111,771,671株	28年3月期	111,771,671株
29年3月期2Q	6,422,875株	28年3月期	6,419,632株
29年3月期2Q	105,350,785株	28年3月期2Q	105,358,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続いているものの、急激な為替変動による企業業績の収益悪化懸念、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気減速により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、為替等の影響を受けて、459億1千7百万円と前年同期比8.8%の減少となりました。利益面においては、機能化学品の伸長により、営業利益は32億4千8百万円と前年同期比5.5%の増加となりました。経常利益については、為替差損の影響もあり26億円と前年同期比20.1%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益も17億6千4百万円と前年同期比10.8%の減少となりました。

当社グループは、ヘルスケア関連事業と合成樹脂・合成ゴムなどの機能化学製品を軸とする高付加価値事業の拡大強化、クロール・アルカリおよびアリルクロライド・エピクロロヒドリン事業のコストダウンによる競争力強化等、環境変化の影響を受けにくい収益体質の構築を図ってまいりました。これにより、営業利益は前年同期比で増益となりました。特に機能化学製品においては、売上高は前年同期比0.2%増加、営業利益は前年同期比10.7%増加し、売上高および営業利益ともに増収増益となり、事業環境の変動に対応できる収益力が強化されてまいりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

基礎化学製品では、クロール・アルカリは、市況の影響により売上高が減少しました。エピクロロヒドリンは、海外向け輸出が増加いたしました。為替等の影響により、売上高が減少しました。以上の結果、基礎化学製品の売上高は199億2百万円と前年同期比9.2%の減少となりました。

機能化学製品では、医薬品精製材料は、国内および中国向け販売が堅調に推移したことに加えて、欧米向けペプチド医薬品精製用途向け販売が増加しました。医薬品原薬・中間体は、循環改善剤の原薬、抗ウイルス薬の中間体、および開発医薬品の受託製造が堅調に推移し、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、UVインキ用途での国内および欧米市場での販売が堅調に推移し、売上高が増加しました。アリルエーテル類は、欧米、中国向け輸出が堅調に推移したため、売上高が増加しました。エピクロロヒドリンゴム関連は、中国をはじめとするアジア向け輸出が堅調に推移したため、販売数量は増加しましたが、為替等の影響により販売単価が下落し、売上高が減少しました。以上の結果、機能化学製品の売上高は183億1千3百万円と前年同期比0.2%の増加となりました。

住宅設備ほかでは、化粧板および生活関連商品の販売が低調に推移したため、売上高は77億円と前年同期比24.1%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%減少し562億8千3百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が9億7千1百万円減少、商品及び製品が8億9百万円減少、有価証券が5億円増加、現金及び預金が3億7千5百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.0%減少し390億8千3百万円となりました。これは、主として投資有価証券が6億2千1百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.7%減少し953億6千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、2.2%減少し299億9千5百万円となりました。これは、主として未払法人税等が6億2百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、9.1%減少し164億2千5百万円となりました。これは、主として長期借入金12億円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、4.7%減少し464億2千1百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.3%増加し489億4千6百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、8億7千6百万円増加し199億1千2百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、51億3千8百万円の収入（前年同四半期は10億6千8百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益23億3千8百万円、減価償却費14億4千万円、売上債権の減少9億3千4百万円によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、17億6千9百万円の支出（前年同四半期は7億9千1百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出11億7千5百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億4千7百万円の支出（前年同四半期は16億6千3百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出12億2千万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,037	12,412
受取手形及び売掛金	27,730	26,759
有価証券	6,999	7,499
商品及び製品	6,163	5,353
仕掛品	1,107	1,291
原材料及び貯蔵品	1,847	1,913
その他	1,252	1,055
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	57,137	56,283
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,098	11,016
その他(純額)	9,259	9,261
有形固定資産合計	20,357	20,277
無形固定資産		
のれん	923	846
その他	269	325
無形固定資産合計	1,192	1,171
投資その他の資産		
投資有価証券	17,154	16,532
その他	1,764	1,665
貸倒引当金	△578	△563
投資その他の資産合計	18,339	17,634
固定資産合計	39,890	39,083
資産合計	97,027	95,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,993	13,061
短期借入金	8,880	8,880
1年内返済予定の長期借入金	2,440	2,420
未払法人税等	1,338	736
賞与引当金	709	724
その他	4,307	4,173
流動負債合計	30,669	29,995
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	2,960	1,760
役員退職慰労引当金	533	529
退職給付に係る負債	3,063	3,064
その他	1,505	1,071
固定負債合計	18,062	16,425
負債合計	48,731	46,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,399	9,399
利益剰余金	24,697	25,934
自己株式	△1,666	△1,668
株主資本合計	43,312	44,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,500	4,895
繰延ヘッジ損益	△82	△41
為替換算調整勘定	45	△6
退職給付に係る調整累計額	△479	△449
その他の包括利益累計額合計	4,983	4,397
純資産合計	48,296	48,946
負債純資産合計	97,027	95,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	50,347	45,917
売上原価	41,859	36,837
売上総利益	8,488	9,079
販売費及び一般管理費	5,408	5,831
営業利益	3,080	3,248
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	179	193
為替差益	5	—
その他	29	41
営業外収益合計	232	250
営業外費用		
支払利息	49	34
為替差損	—	845
その他	7	18
営業外費用合計	56	898
経常利益	3,255	2,600
特別利益		
投資有価証券売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	172	262
創立100周年記念費用	149	—
特別損失合計	322	262
税金等調整前四半期純利益	2,952	2,338
法人税、住民税及び事業税	904	673
法人税等調整額	70	△100
法人税等合計	974	573
四半期純利益	1,977	1,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,977	1,764

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,977	1,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△908	△605
繰延ヘッジ損益	△22	40
為替換算調整勘定	6	△51
退職給付に係る調整額	11	29
その他の包括利益合計	△913	△586
四半期包括利益	1,064	1,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,064	1,178
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,952	2,338
減価償却費	1,438	1,440
のれん償却額	66	77
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△101	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	1
受取利息及び受取配当金	△196	△208
支払利息	49	34
為替差損益(△は益)	△13	678
固定資産除却損	172	262
売上債権の増減額(△は増加)	△193	934
たな卸資産の増減額(△は増加)	△948	552
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,220	210
その他	△201	△98
小計	1,782	6,220
利息及び配当金の受取額	196	208
利息の支払額	△49	△35
法人税等の支払額	△860	△1,254
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,068	5,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△620	△1,175
無形固定資産の取得による支出	△36	△97
投資有価証券の取得による支出	△8	△252
その他	△126	△244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△791	△1,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,240	△1,220
配当金の支払額	△421	△525
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,663	△1,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△745
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,371	876
現金及び現金同等物の期首残高	20,095	19,036
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	301	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,025	19,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	21,923	18,282	10,142	50,347	—	50,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	1	218	232	△232	—
計	21,935	18,283	10,360	50,579	△232	50,347
セグメント利益	607	2,856	131	3,595	△515	3,080

(注) 1 セグメント利益の調整額△515百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	19,902	18,313	7,700	45,917	—	45,917
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	0	694	704	△704	—
計	19,912	18,314	8,395	46,622	△704	45,917
セグメント利益	498	3,163	55	3,717	△468	3,248

(注) 1 セグメント利益の調整額△468百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。